

「小児期発症炎症性腸疾患における神経内分泌細胞の発現動態についての臨床病理学的検討」

1. 研究の目的・方法

炎症性腸疾患は遺伝的素因や免疫異常、腸内細菌叢などの環境因子が発症に関与すると言われておりますが、その原因やどのようにして回復するのかについては明らかになっておりません。神経内分泌細胞は他の臓器では組織の修復に関与すると言われておりますが、小児炎症性腸疾患患者に対して過去に研究されたことはありません。そこで、本研究では消化管内視鏡検査を行い、粘膜生検組織を行った患者さんを対象とし、神経内分泌細胞が炎症性腸疾患の病態にどう関与しているのかを調べることを目的としております。

2. 研究対象

対象期間および対象者：当院開院から 2022 年の間に当院で消化管内視鏡検査を施行した方。

3. 研究方法に用いる試料・情報の種類

試料：内視鏡検査において採取された粘膜組織検体、手術標本

情報：性別、年齢、発症年齢、診断時年齢、症状・所見、治療内容、合併症の有無、病理検体番号、採血データ。

4. 研究期間

2022 年 12 月から 2027 年 3 月

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒989-3126 仙台市青葉区落合 4 丁目 3-17

電話：022-391-5111（代表）

研究責任者：宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科 成重勇太